

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局(43) 国際公開日
2009 年 3 月 26 日 (26.03.2009)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 2009/038073 A1

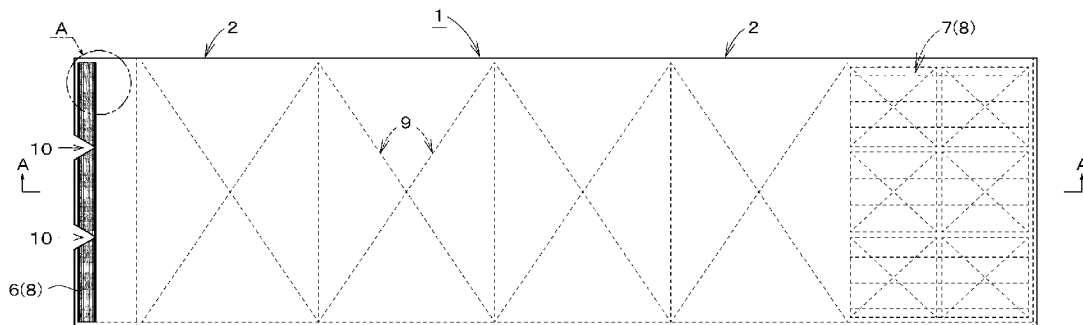
- (51) 国際特許分類:
A41B 9/12 (2006.01) A41C 1/00 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2008/066730
- (22) 国際出願日: 2008 年 9 月 17 日 (17.09.2008)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
実願 2007-007257 2007 年 9 月 19 日 (19.09.2007) JP
特願 2007-281998 2007 年 10 月 30 日 (30.10.2007) JP
- (71) 出願人 および
(72) 発明者: 岡本 経治 (OKAMOTO, Keiji) [JP/JP]; 〒
6660124 兵庫県川西市多田桜木 2 丁目 1 番 3 4 号
西村ビル 4 0 1 号 Hyogo (JP).
- (74) 代理人: 安田 敏雄, 外 (YASUDA, Toshio et al.); 〒
5770066 大阪府東大阪市高井田本通 7 丁目 7 番 1 9 号
昌利ビル 7・6 階 安田岡本特許事務所 Osaka (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD,

[続葉有]

(54) Title: BELLY BAND

(54) 発明の名称: 腹巻

[図1]



(57) Abstract: A belly band that would allow independent stepwise regulation of the degree of tension on each location along the vertical direction of the belly part and would prevent detachment of locking members irrespective of any hard movement during wearing. The belly band (1) comprises a band-shaped cloth (2) having a vertical breadth for covering the belly part and having a length ranging from the perimeter in the waistline direction to twice the same and further not only a male locking part (6) of hook-and-loop fastener attached onto the reverse side of a one-end side of the band-shaped cloth (2) but also, corresponding to the male locking part (6), a female locking part (7) of hook-and-loop fastener attached onto the obverse side of the other-end side of the band-shaped cloth (2). The female locking part (7) of hook-and-loop fastener attached onto the obverse side of the other-end side of the band-shaped cloth (2) has an attachment width in the waistline direction being larger than that of the male locking part (6) of hook-and-loop fastener. Only the one end of the band-shaped cloth (2) onto which the male locking part (6) of hook-and-loop fastener is attached is provided with a cutoff area (10) dividing the male locking part (6) of hook-and-loop fastener into multiple regions in the vertical breadth direction.

(57) 要約: 本発明は、腹部上下方向の各位置の緊迫度を独立して段階的に調節でき、かつ、着用中の激しい運動でも係止具が外れない腹巻を提供することを課題としている。本発明の腹巻(1)は、腹部を覆う縦幅と胴回り方向に1周以上で2周以下の長さを有する带状生地(2)と、带状生地(2)の一端側裏面に取り付けられた面ファスナーの雄係止部(6)及び該雄係止部(6)に対応して带状生地(2)の他端側表面に取り付けられた面ファスナーの雌係止部(7)とを備えており、带状生地(2)の他端側表面に取り付けられた面ファスナーの雌係止部(7)の胴回り方向の取付幅が前記面ファスナーの雄係止部(6)の胴回り方向の取付幅よりも広幅とされ、

[続葉有]

WO 2009/038073 A1



SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MT, NL, NO, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告書

明 細 書

腹巻

技術分野

- [0001] 本発明は、例えば、祭りの装束としてやゴルフその他のスポーツ時の腹部および腰回り保護、その他、普段の健康のためなどに腹部に着用される腹巻の改良に関するものである。

背景技術

- [0002] 従来、例えば、祭りの装束の1つとして、腹巻が着用され、この腹巻として、縦幅30 cm程度、長さ5m程度の白木綿の晒し生地が使用され、これを腹部に巻き付けて着用されている。

この場合、晒し生地の両端は、裁断されたままで係止具等は取り付けられていない。そのため、晒し生地を着用者の腹部に数回巻き付けて始端を押さえ、終端を巻き付け済みの生地間に折り込むように挟み込んで止めている。

- [0003] しかし、祭りでは、激しい運動が伴うため、上記終端を巻き付け済みの生地間に挟み込んだだけでは、弛みやすく、頻繁に締め直しを行う必要があった。

なお、両端に係止具を備えた腹巻は、既に種々提案されており、例えば、面ファスナーによって緊迫力を調節可能に係止させるようにしたもの(特許文献1, 2参照)が公知である。

特許文献1:実用新案登録第3065605号公報

特許文献2:特開平8-218204号公報

発明の開示

発明が解決しようとする課題

- [0004] 前記面ファスナー方式の係止具(特許文献1)は、腹巻の縦幅方向(腹部上下方向)に対して連続しているため、緊迫力の調節も腹部上下方向に連続して係止されてしまうことになり、腹部上下方向の各位置で独立して不連続に段階的に調節して係止することはできない。

一方、人の腹部の形状は、例えば、鼓型、円筒型、太鼓型、円錐型等、様々であり

、前記面ファスナー方式の係止具(特許文献1)であれば、腹巻の縦幅寸法が約30cm程度あって手の把持幅(約10cm程度)に比べて広幅であるため、一度に全幅に亘って把持することができず、例えば、縦幅方向の中央部を把持して緊締係止すると、縦幅方向の上下両端の面ファスナーの係止位置も中央部の係止位置に追従して係止されてしまうために腹部の形状に適合しない状態で係止され、また、上端側や下端側を把持して緊締係止すると、中央部や他端側が腹部の形状に適合しない状態で係止されてしまうという不具合があり、後で部分的に修正しようとしても、その分の係止を外すと、それに続く部分の係止までが一緒に外れてしまうことが避けられず、自由に係止位置を調節することができないという欠点があった。そのため、腹巻が着用者の腹部の形状に適合しない状態で装着されることになり、例えば、一番太い部分は丁度良いが、それより細い部分は緩みを生じて、着用中の動作によって、腹巻のズレが発生することが避けられなくなる等の欠点があった。

[0005] これに対して、特許文献2の図1及び図3に記載のものは、面ファスナーの雌雄の係止部を胴回り方向で同じ取付幅で取り付けられているが、この構成であれば、着用者の体形に応じて面ファスナーの雌雄の係止位置を自由に変更調節することができない欠点がある。即ち、係止位置を自由に変更調節しようとする、係止面積が減少し、緊締状態の保持力が不足して外れやすくなる欠点があり、これを避けるために係止面積をいつも同じになるようにして係止する必要がある、これでは、着用者の体形に対応させて係止位置を自由に変更調節することができないことになる。

[0006] また、特許文献2のものは、面ファスナーの雌雄の係止部を取り付けた帯状生地の上端に同じ形状と個数の切り欠き部を形成しているが、この構成であれば、着用時に下側(肌側)になる方の帯状生地の端縁は、上側(外側)になる方の帯状生地の下に重ね合わされることになるため、切り欠き部で分割された各分割片を個々に掴んだままで上から面ファスナーを押し付けなければならない。その場合、分割片を掴んでいる手が面ファスナーを覆い隠す状態となり、目的とする分割片同士の面ファスナーを的確に係止させることが困難となる欠点がある。しかも、各分割片は、切り欠き部で分離されているため、手で掴んでいる分割片以外の各分割片は自由に折れ曲がったり、垂れ下がったりして面ファスナーの係止操作を阻害する欠点がある。その上、帯状

生地の両側の端縁にそれぞれ切り欠き部を設けることは、製造工数を増加させ、コスト高を招く欠点がある。

[0007] また、特許文献2のものは、帯状生地として、伸縮弾性の大きいメリヤスなどのニット生地を使用すること、特に、弾性の大きいニット生地を帯状生地の縦横方向に格子状に配置し、その格子内には弾性の小さいニット生地を配置するという特殊な構成のニット生地を使用することを必須要件としており、益々コスト高を招く欠点がある。

[0008] 本発明は、従来の腹巻の上記欠点に鑑みて提案されたもので、その目的とするところは、腹部上下方向の各位置の緊迫度を独立して段階的に調節でき、しかも、着用中の激しい運動によっても係止具が外れることがない腹巻を提供することにある。

課題を解決するための手段

[0009] 前記目的を達成するために本発明は、腹部を覆う縦幅と胴回り方向に1周以上で2周以下の長さを有する帯状生地と、前記帯状生地的一端側裏面に取り付けられた面ファスナーの雄係止部及び該雄係止部に対応して前記帯状生地の他端側表面に取り付けられた面ファスナーの雌係止部とを備えており、前記帯状生地の他端側表面に取り付けられた面ファスナーの雌係止部の胴回り方向の取付幅が前記面ファスナーの雄係止部の胴回り方向の取付幅よりも広幅とされており、しかも、前記面ファスナーの雄係止部が取り付けられた方の帯状生地的一端にだけ、前記面ファスナーの雄係止部を縦幅方向に複数に分断する切り欠き部が形成されていることを特徴としている。

[0010] この構成によれば、広幅とされた面ファスナーの雌係止部の取付幅の範囲内で面ファスナーの雄係止部の係止位置を胴回り方向で自由に変更調節することができ、その際、どの係止位置においてもほぼ同じ係止面積で接着係止させることができ、帯状生地の装着状態における緊締保持力が不足するようなことはない。

[0011] また、切り欠き部は、帯状生地の装着時、上側(外側)となる方の帯状生地の端部にだけ形成し、他方の端部、即ち、下側(内側)となる方の帯状生地の端部には切り欠き部を形成していないため、この方の端部は、どこを手で掴んでも縦幅方向に一連に保形され、折れまがりや垂れ下がりが防止され、他方の端部の各分断された面ファスナーの雄係止部を雌係止部に上側(外側)から前記の掴んだ手に阻害されることな

く容易に接着係止することができる。

[0012] 勿論、上側となる方の带状生地端部に取り付けられた面ファスナーの雄係止部は、縦幅方向に複数に分断する切り欠き部が形成してあるため、带状生地の縦幅方向の係止位置を、着用者の体形に応じて胴回り方向で自由にずらせて適正な位置に変更調節して接着係止することができ、その際、面ファスナーの雌雄の係止部の係止面積を同一にして係止させることができるため、腹部上下方向の各位置の緊迫度を独立して段階的に調節でき、しかも、着用中の激しい運動によっても係止具が外れることがない。

[0013] また、切り欠き部は、带状生地的一端にだけ形成すればよいので、製造工数を削減でき、コスト高を回避することができる。さらに、带状生地は、特殊な構成のものを用いる必要が無く、この点でも、コスト高を回避することができる。

この切り欠き部は、带状生地的一端に当初から形成しておいてもよいが、後からハサミでカットして形成するようにしてもよい。この場合では、購入者が自分の体型に合うような带状生地の締付位置(係止具の係止位置)を選べるように、切り欠き部の形成位置を選択してカットできるようにするもので、そのために、带状生地的一端には、切り欠き部が形成可能な切り取り用準備部を適宜の間隔で縦幅方向に複数段に亘って形成した構成としておけばよい。

[0014] また、前記带状生地は、表地と裏地と、その間に挿入された芯地とを重ね合わせて構成されていることを特徴としている。この構成によれば、芯地によって带状生地に張り(剛性)が与えられ、腹部への巻き付け時、皺よりを防いで一様な帯幅で均整に巻き付けることができる。

また、前記带状生地の表地と裏地との間に、鎖帷子状の防護ネットが着脱可能に挿入されていることを特徴としている。この構成によれば、危険が予想される場合には、鎖帷子状の防護ネットを带状生地の表地と裏地との間に挿入介在させて装着することにより、万一、刃物による刺し傷を防護することができ、不要な場合は外すことができる。

[0015] また、前記带状生地の表地が皮革製とされ、裏地が布生地製とされていると共に、前記裏地が表地に対して着脱可能に構成されていることを特徴としている。この構成

によれば、表地を皮革製とすることによって腹巻を豪華なものとしてすることができ、裏地を布生地製とすることによって肌に馴染みやすくすることができると共に、表地に対して着脱可能とすることによって汚れた場合に裏地を外して洗濯することができる。

発明の効果

- [0016] 本発明によれば、腹部上下方向の各位置の緊迫度を独立して段階的に調節でき、しかも、着用中の激しい運動によっても係止具が外れることがない腹巻を提供することができる。

図面の簡単な説明

- [0017] [図1]図1は、本発明の腹巻の展開状態の概略裏面図である。
[図2]図2は、図1のA-A断面図である。
[図3]図3は、図1の表面図である。
[図4]図4は、図1のA部拡大図である。
[図5]図5は、図2のB部拡大図である。
[図6]図6は、図2のC部拡大図である。
[図7]図7は、図3のD部拡大図である。
[図8]図8は、本発明の腹巻の別の実施態様の展開状態を示す概略裏面図である。
[図9]図9は、本発明の腹巻の更に別の実施形態の展開状態を示す概略裏面図である。
[図10]図10は、図9の腹巻の概略表面図である。
[図11]図11は、本発明の腹巻の端部に被覆片を取り付けた別の実施形態の要部を示す概略裏面図である。
[図12]図12は、図11の被覆片の折り込み前の状態を示す概略縦断側面図である。
[図13]図13は、図11の被覆片の折り込み後の状態を示す概略縦断側面図である。

符号の説明

- [0018] 1 腹巻
2 带状生地
6 面ファスナーの雄係止部
7 面ファスナーの雌係止部

8 係止具

9 キルティング加工状縫目

10 切り欠き部

発明を実施するための最良の形態

[0019] 以下、本発明の腹巻の実施形態を図面に基づいて説明する。

図1～図3は本発明の腹巻の展開状態の概略裏面図、A-A断面図、表面図であり、図4～図7は図1～図3のA～D部拡大図である。

本発明の腹巻1は、図1～図7に示すように、帯状生地2と、面ファスナーの雄係止部6及び雌係止部7からなる係止具8とを備えている。

[0020] 帯状生地2は、腹部を覆う縦幅と胴回り方向に1周以上で2周以下の長さを有する。この帯状生地2のサイズは、例えば、縦幅が約290mmとされ、胴回り方向の長さを、各サイズ毎に、例えば、S=63cm、M=84cm、L=105cm、LL=126cmとされる（但し、これに制約されず、適宜、変更可能である）。

前記係止具8の面ファスナーのうち、雄係止部6は、前記帯状生地2の一端側裏面に縫着などで取り付けられている。この雄係止部6は、前記帯状生地2の一端側に近い側にのみ前記帯状生地2の縦幅方向の略全幅に亘って細带状（例えば、幅約20mm程度）に取り付け配置されている。但し、上記雄係止部6の上下方向長さは、帯状生地2の縦幅よりも若干短く（例えば、上下各々約10mm程度短く）されている。

[0021] また、上記雄係止部6は、前記帯状生地2の一端（図1の左端）側端縁から他端（図1の右端）側へ若干離隔（例えば、約5mm程度離隔）して取り付けられ、これによって、帯状生地2の一端（図1の左端）側端縁が面ファスナーの雄係止部6から食み出させてあり、この食み出し部分を把持して面ファスナーの着脱操作を容易化している。

また、面ファスナーの雌係止部7は、前記雄係止部6に対応して前記帯状生地2の他端側表面に縫着などで取り付けられている。

[0022] 上記面ファスナーの雌係止部7は、例えば、胴回り方向に約200mm前後の長さに亘って取り付けられている。

また、上記面ファスナーの雌係止部7の他端（図3の右端）側は、帯状生地2の他端（図3の右端）よりも内側に若干（例えば、約20mm前後）引っ込めてある。さらに、上

記面ファスナーの雌係止部7の上下方向長さは、带状生地2の縦幅よりも若干(例えば、上下各々約10mm程度)短くしてある。

[0023] 带状生地2の一端には、前記面ファスナーの雄係止部6を縦幅方向に複数に分断する切り欠き部10が形成されている。

この構成によれば、各分断された面ファスナーの雄係止部6を雌係止部7に接着係止する位置を、胴回り方向である程度自由にずらせて接着係止することができる。従って、带状生地2を着用者の体型に適合させた締付状態に巻き付けて接着係止することができる。

[0024] この切り欠き部10は、带状生地2の一端に当初から形成しておいてもよいが、後からハサミでカットして形成するようにしてもよい。この場合では、購入者が自分の体型に合うような带状生地2の締付位置(係止具の係止位置)を選べるように、切り欠き部10の形成位置を選択してカットできるようにするもので、そのために、带状生地2の一端には、切り欠き部10が形成可能な切り取り用準備部(図示省略)を適宜の間隔で縦幅方向に複数段に亘って形成した構成としておけばよい。この切り取り用準備部は、带状生地2の表裏面の一方又は双方に切り取り用補助線として表示(例えば、印刷、吹き付け、捺染、描画等いずれでもよい)しておけばよい。そして、切り取り後の生地 of 解れ止めのために、前記補助線の外側(带状生地2に残る側)に解れ止め用縫目を施しておくのが好ましい。

[0025] 本発明に係る腹巻1の実施形態は、以上の構成からなり、次にその機能を説明する。

本発明の腹巻1は、広幅とされた面ファスナーの雌係止部7の取付幅の範囲内で面ファスナーの雄係止部6の係止位置を胴回り方向で自由に変更調節することができ、その際、どの係止位置においてもほぼ同じ係止面積で接着係止させることができ、带状生地2の装着状態における緊締保持力が不足するようなことはない。

[0026] また、切り欠き部10は、带状生地2の装着時、上側(外側)となる方の带状生地2の端部にだけ形成し、他方の端部、即ち、下側(内側)となる方の带状生地2の端部には切り欠き部を形成していないため、この方の端部は、どこを手で掴んでも縦幅方向に一連に保形され、折れまがりや垂れ下がりが防止され、他方の端部の各分断され

た面ファスナーの雄係止部6を雌係止部7に上側(外側)から前記の掴んだ手に阻害されることなく容易に接着係止することができる。

勿論、上側となる方の帯状生地10の端部に取り付けられた面ファスナーの雄係止部6は、縦幅方向に複数に分断する切り欠き部10が形成してあるため、帯状生地2の縦幅方向の係止位置を、着用者の体形に応じて胴回り方向で自由にずらせて適正な位置に変更調節して接着係止することができ、その際、面ファスナーの雌雄の係止部6, 7の係止面積を同一にして係止させることができるため、腹部上下方向の各位置の緊迫度を独立して段階的に調節でき、しかも、着用中の激しい運動によっても係止具8が外れることがない。

[0027] また、切り欠き部10は、帯状生地2の一端にだけ形成すればよいので、製造工数を削減でき、コスト高を回避することができる。さらに、帯状生地2は、特殊な構成のものを用いる必要が無く、この点でも、コスト高を回避することができる。

このように、本発明の腹巻1は、着用者の腹部の形状に適合した装着状態を安定して保持させることができ、着用中に緩みやズレが生じない腹巻を提供することができる。

[0028] また、係止具8の面ファスナーの雄係止部6は、帯状生地2の一端側端縁から他端側へ若干離隔して取り付けられているため、係止具8の面ファスナーの雄係止部6を相手側の雌係止部7に接着操作及び剥離操作する際、帯状生地2の端縁が雄係止部6よりも外側に食い出しているため、この食い出し部を掴んで操作でき、指に痛みを感じることなく前記面ファスナーの接着・剥離操作を容易に行うことができる。

[0029] 本発明の腹巻1の実施形態は、以上の構成及び機能からなるが、本発明は、これらの実施形態にのみ制約されるものではなく、適宜変形して実施してもよい。例えば、裏地は、吸湿性の高い生地としたり、或いは、通気性が高く、肌への接触感がさらつとした生地とし、この生地と表地との間に吸湿性の高い生地を配置したサンドイッチ構造としたり、その他、表地には、刺繍模様やプリント模様を施してもよい。また、係止具8の面ファスナーの雄係止部6と雌係止部7とを前記実施形態と逆関係としてもよい。さらに、本発明の腹巻は、和服着用時やスポーツ時の女性の胸部を押さえる胸用コルセットとして利用することもできる。

[0030] なお、バストサイズの大きい女性の場合では、バストへの過度の圧迫を避けるため、帯状生地2の縦幅を短く、例えば、220mm程度として、帯状生地2の上縁がバストにかからないようにしてもよい。

また、上記帯状生地2には、適宜の生地が使用可能であり、例えば、祭り用の場合では、白木綿の晒し生地で構成されるのが普通であるが、これに制約されず、ジーンズ生地(デニム生地)、他の織物生地や編み物生地、その他、伸縮性に富む生地等で構成してもよく、さらに、表地と裏地とで生地の組成や色彩を異ならせたものとしてもよい。

[0031] 上記帯状生地2は、図2に示すように、本実施形態では、表地2aと裏地2bとの間に芯地2cを挿入して構成している。この構成によれば、芯地2cによって帯状生地2に張り(剛性)が与えられ、腹部への巻き付け時、皺よりを防いで一様な帯幅で均整に巻き付けることができる。なお、芯地2cの挿入範囲は、帯状生地2の長手方向両端付近を除く範囲で、例えば、面ファスナーの雄係止部6の取付位置付近から面ファスナーの雌係止部7の取付位置の手前までの範囲に挿入されるものである。

図示した本発明の腹巻1は、帯状生地2の周縁を折り返して袋縫いとした場合を例示しているが、これに代えて、生地端縁を被覆する断面U形状の縁テープを取り付けて、生地端縁の解れ止め加工を施してもよい。なお、帯状生地2の芯地2cの挿入範囲を含めて、キルティング加工状縫目9で表裏生地を一体化させている。

[0032] 上記帯状生地2は、その表地2aを皮革製とし、裏地2bを汗取り等のために布生地(例えば、綿布等)製とし、皮革製の表地2aに対して、スナップボタンやスライドファスナー或いは面ファスナーで着脱可能に取り付けて裏地2bだけを洗濯可能とした構成で実施してもよい。この構成によれば、表地2aを皮革製とすることによって腹巻1を豪華なものとすることができ、裏地2bを布生地製とすることによって肌に馴染みやすくすることができると共に、表地2aに対して着脱可能とすることによって汚れた場合に裏地2bを外して洗濯することができる。

前記係止具8の面ファスナーの雄係止部6が取り付けられている方の帯状生地2の端部には、図1、図3に示すように、前記面ファスナーの雄係止部6を縦幅方向に複数に分断する切り欠き部10が形成されている。この切り欠き部10は、帯状生地2を縦

幅方向に3等分する位置の2箇所形成した場合を例示しているが、これに制約されず、例えば、縦幅方向の中央部にも追加して設けたり、4等分位置としたり適宜に設けてもよい。また、切り欠き部10の形状は、V形状を例示しているが、これに制約されず、他の形状としてもよい。

[0033] このような切り欠き部10を形成しておけば、各分断された面ファスナーの雄係止部6を雌係止部7に接着係止する位置を、胴回り方向である程度自由にずらせて接着係止することができる。この場合、着用時の下側(肌側)となる帯状生地2の他端、即ち、面ファスナーの雌係止部7を取り付けてある側の端縁には、切り欠き部10を設けていないため、この側の帯状生地2の端縁の上下方向の保形性が強化され、片手で一部を押さえるだけで直立状態に保持され、その結果、帯状生地2を着用者の腹部の体型に適合した状態に巻き付けて、その位置で面ファスナーで接着保持させる動作が容易に行えるようになる。

また、本発明は、前記帯状生地2の表地2aと裏地2bとの間に、鎖帷子状の防護ネット(図示省略)を着脱可能に挿入できるようにした構成で実施してもよい。この構成によれば、危険が予想される場合には、鎖帷子状の防護ネットを帯状生地2の表地2aと裏地2bとの間に挿入介在させて装着することにより、万一、刃物による刺し傷を防護することができ、不要な場合は外すことができる。なお、鎖帷子状の防護ネットを帯状生地2に取り付けるには、表地2aの裏面上縁に沿ってU形状のフックを長手方向に適宜の間隔で取り付けておき、このフックに防護ネットの上縁を吊り下げ係止するようにすればよい。

[0034] また、本発明は、上記鎖帷子状の防護ネットの代わりに、ナイロン製その他の材質よりなる保温シートを着脱可能に挿入できるようにし、装着時、発汗作用を促進してダイエット効果を上げる腹巻1として利用することもできる。この場合も、保温シートを取り出して洗濯等を容易にするものである。

また、本発明の腹巻1は、妊婦用腹帯として利用することもできる。この場合には、胎児の成長に伴って胴回り方向のサイズを、例えば、80cm～150cmくらいまで段階的に調節できるように、面ファスナーの雌係止部7の胴回り方向の設置幅を幅広とするのが好ましい。

[0035] また、本発明の腹巻1には、財布入れ用の内ポケットや、タバコ、小銭入れ用外ポケットを付けてもよい。

さらに、本発明の腹巻1には、磁気粒子、その他、人体への指圧効果球体等のツボ刺激部材を背中側の所定位置に対応させてボタン状又はシート状に設けておいてもよい。

また、本発明の腹巻1は、帯状生地2の展開形状を、鼓型、扇形、その他、下縁が下方に凸円弧状になっているものなど、適宜の形状としてもよい。

[0036] 図9、図10は、その一例として、帯状生地2の胴回り方向の途中上下にV形凹部13, 13を形成した場合を示している。この場合、V形凹部13, 13の形成位置は、着用時に背中中央部となる位置とするのが好ましい。例えば、帯状生地2の一端(面ファスナーの雌係止部7を取り付けてある側の端部)からV形凹部13, 13の中央部までの寸法が320～330mmの範囲に形成され、その場合のV形凹部13, 13の胴回り方向の形成幅は、340～360mmとされ、また、V形凹部13, 13の縦幅方向の深さは、35～45mmとされる。帯状生地2のサイズを例示すれば、縦幅は290mm、胴回り方向の長さは、S=900mm、M=1000mm、L=1100mm、LL=1200mmとされる。

なお、本発明の腹巻1は、右利き用と左利き用とのいずれにも適用でき、例えば、上下反転させることにより、共用できる。

[0037] また、本発明の腹巻1は、図8に示すように、帯状生地2の胴回り方向の複数箇所(図8は4箇所の場合を例示しているが、これに制約されず、適宜増減してもよい。)に縦幅方向に沿う切り目入れ用縫目11を縦幅方向全長に亘って施している。この縫目11は、各箇所でも2条ずつ平行に施されており、この2条の縫目11の間にハサミ等で切り目を入れることで、切り目入れ後、その切り目部分からの生地2の解れを防止させるようにしている。このような切り目を入れるのは、帯状生地2の裾側を拡開可能とし、腹部及びウエスト部が細くヒップ部に向けて胴回り方向の周囲長が大きくなる体型の着用者(例えば、女性)に無理なくフィットさせるためのものであって、購入者が自分の体型に合わせて適宜の箇所に切り目を入れるようにするものである。この切り目は、帯状生地2の縦幅方向の全幅に亘って入れるものではなく、下側(裾側)から1／

3程度の長さまで入れるだけであって、この切り目を止める位置の目安として、この縫目11に直交する縫目12、12を带状生地2の縦幅方向の上下それぞれ約1/3の位置に胴回り方に沿って施している。なお、右利き用と左利き用とで上下反転させて使用可能とするため、縫目11を縦幅方向全長に亘って施しており、上下いずれからでも切り目を1/3で止める目安として、縫目12、12を上下いずれからでも1/3の位置に施している。このような切り目入れに関する情報は、本発明の腹巻1の商品包装の説明書中にイラスト入りで記載しておき、購入者が、商品を最適状態で使用できるようにしておくものである。

- [0038] また、面ファスナーの雄係止部6を取り付けている側の带状生地2の端部の上下には、図11に示すように、布生地製の被覆片14、14を上下に延長した状態で縫着しておくこともできる。この被覆片14、14は、带状生地2を着用者の腹部に巻き付けるときには、図12に示すように、上下に延長させた状態で着用者の腹部に巻き付けておき、巻き付け後、図13に示すように、肌側(内面側)に折り込むものである。このようにする理由は、带状生地2を着用者の腹部に巻き付けるとき、上側(外側)となる面ファスナーの雄係止部6が、雌係止部7よりも上側又は下側にはみ出して着用者の地肌に直に接触して痛みを伴うことを防止し、ソフト感を持たせるためである。この被覆片14、14の取付幅は、面ファスナーの雄係止部6の胴回り方向の取付幅と同等乃至やや大きめの幅とされ、例えば、胴回り方向の幅が約60mmとされ、上下方向へのはみ出し量は、約30mmとされる。

産業上の利用可能性

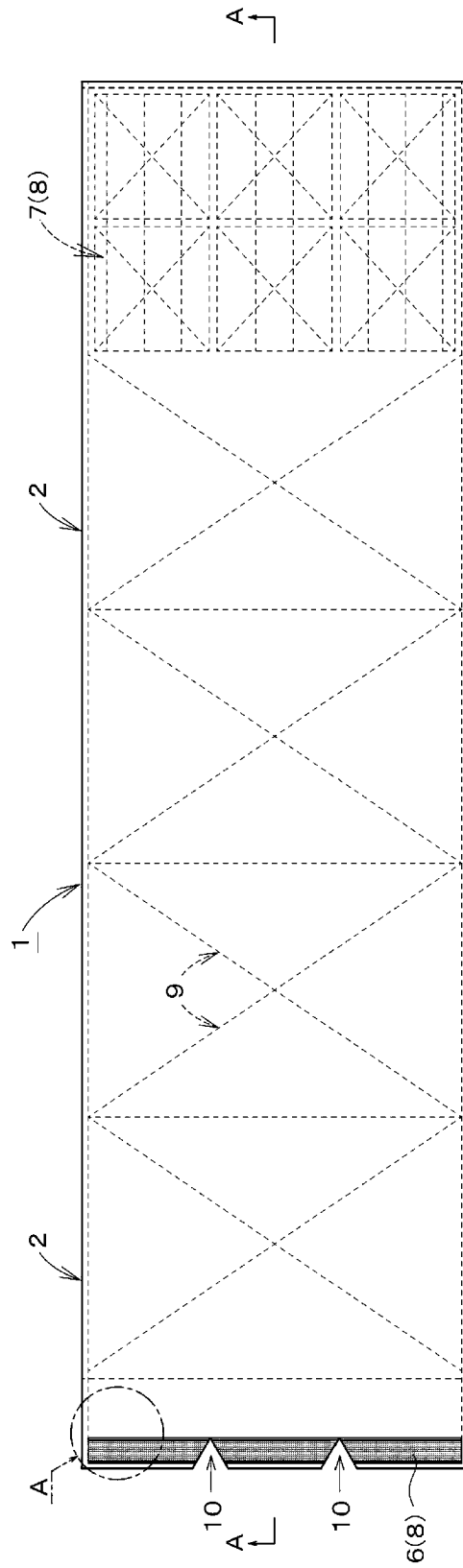
- [0039] 本発明の腹巻は、祭りの装束としてやゴルフその他のスポーツ時の腰回りの保護、その他、普段の健康のため、ダイエットのため、体形補正のため、妊婦用腹帯として腹部を保護するために着用される。

請求の範囲

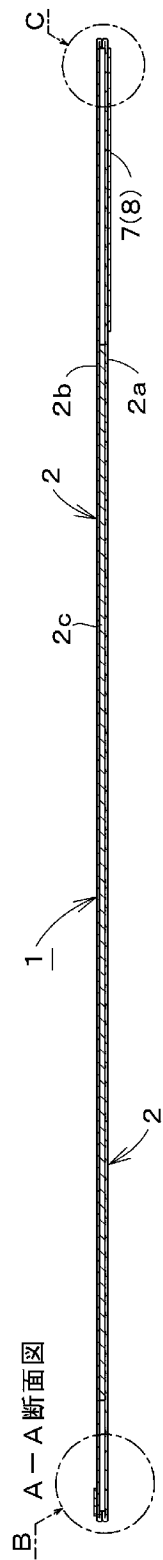
- [1] 腹部を覆う縦幅と胴回り方向に1周以上で2周以下の長さを有する带状生地と、前記带状生地的一端側裏面に取り付けられた面ファスナーの雄係止部及び該雄係止部に対応して前記带状生地の他端側表面に取り付けられた面ファスナーの雌係止部とを備えており、
- 前記带状生地の他端側表面に取り付けられた面ファスナーの雌係止部の胴回り方向の取付幅が前記面ファスナーの雄係止部の胴回り方向の取付幅よりも広幅とされており、しかも、前記面ファスナーの雄係止部が取り付けられた方の带状生地的一端にだけ、前記面ファスナーの雄係止部を縦幅方向に複数に分断する切り欠き部が形成されていることを特徴とする腹巻。
- [2] 腹部を覆う縦幅と胴回り方向に1周以上で2周以下の長さを有する带状生地と、前記带状生地的一端側裏面に取り付けられた面ファスナーの雄係止部及び該雄係止部に対応して前記带状生地の他端側表面に取り付けられた面ファスナーの雌係止部とを備えており、
- 前記带状生地の他端側表面に取り付けられた面ファスナーの雌係止部の胴回り方向の取付幅が前記面ファスナーの雄係止部の胴回り方向の取付幅よりも広幅とされており、しかも、前記面ファスナーの雄係止部が取り付けられた方の带状生地的一端にだけ、前記面ファスナーの雄係止部を縦幅方向に複数に分断する切り欠き部が形成可能な切り取り用準備部が形成されていることを特徴とする腹巻。
- [3] 前記带状生地は、表地と裏地と、その間に挿入された芯地とを重ね合わせて構成されていることを特徴とする請求項1又は2に記載の腹巻。
- [4] 前記带状生地の表地と裏地との間に、鎖帷子状の防護ネットが着脱可能に挿入されていることを特徴とする請求項3に記載の腹巻。
- [5] 前記带状生地の表地が皮革製とされ、裏地が布生地製とされていると共に、前記裏地が表地に対して着脱可能に構成されていることを特徴とする請求項3に記載の腹巻。
- [6] 前記带状生地の表地が皮革製とされ、裏地が布生地製とされていると共に、前記裏地が表地に対して着脱可能に構成されていることを特徴とする請求項4に記載の

腹巻。

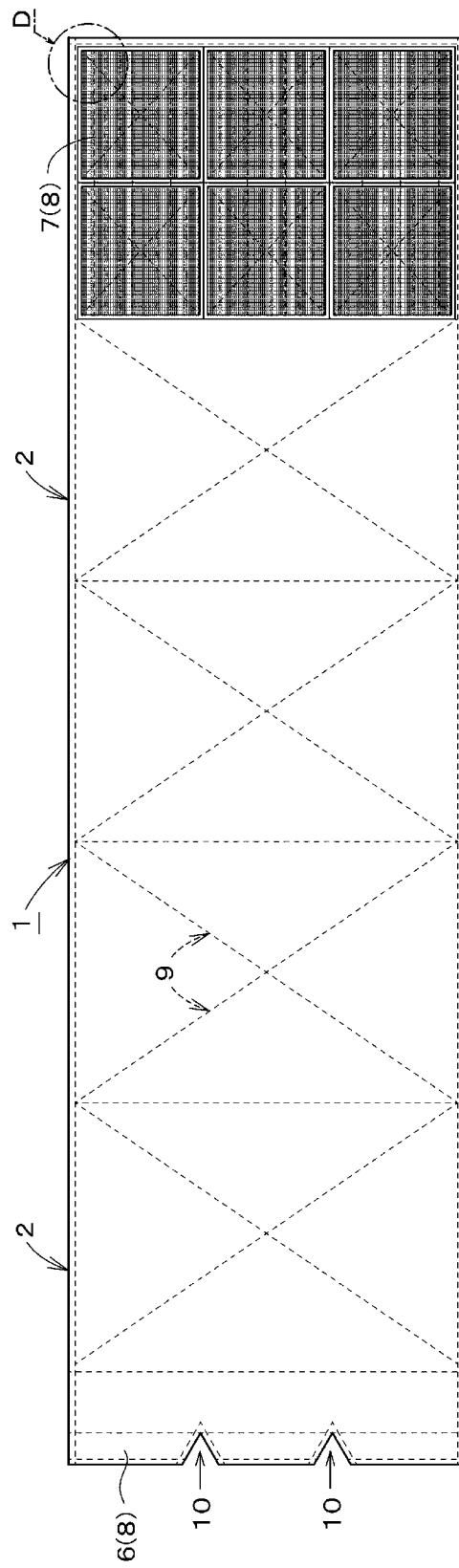
[図1]



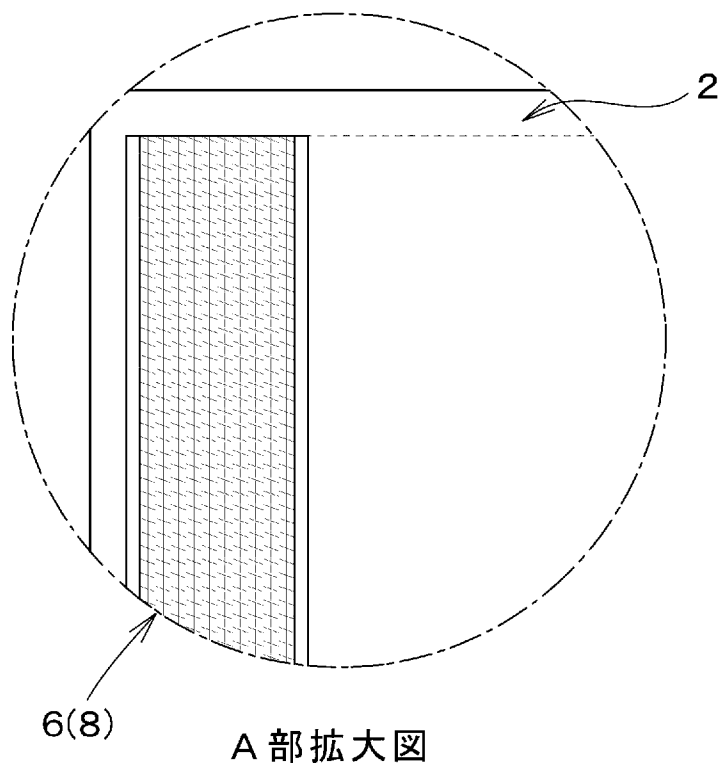
[図2]



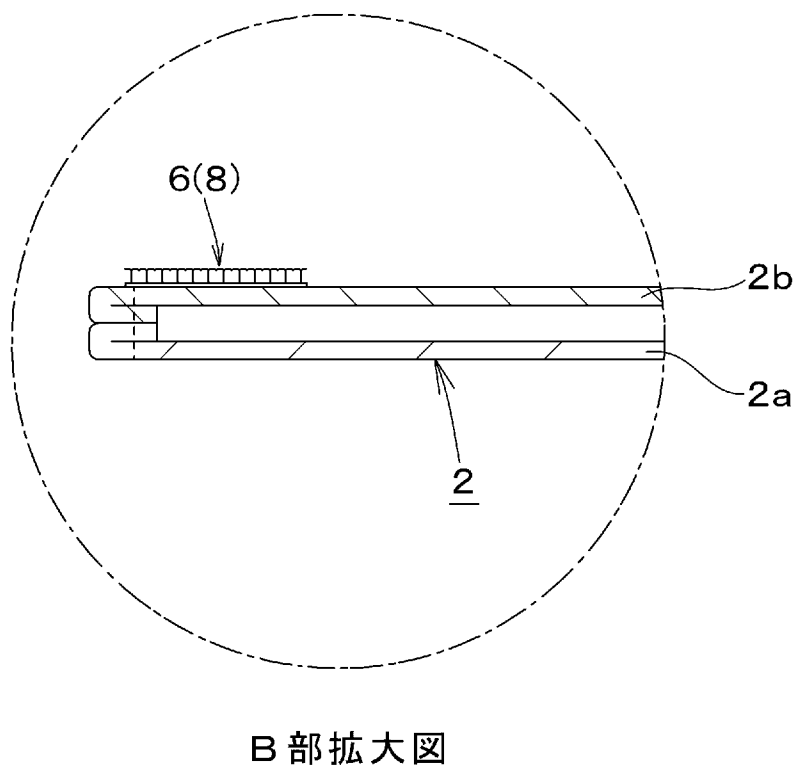
[図3]



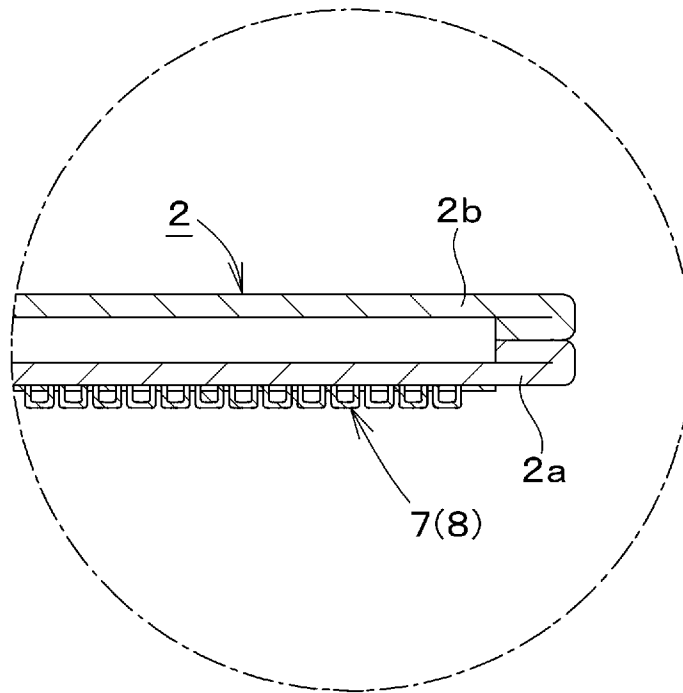
[図4]



[図5]

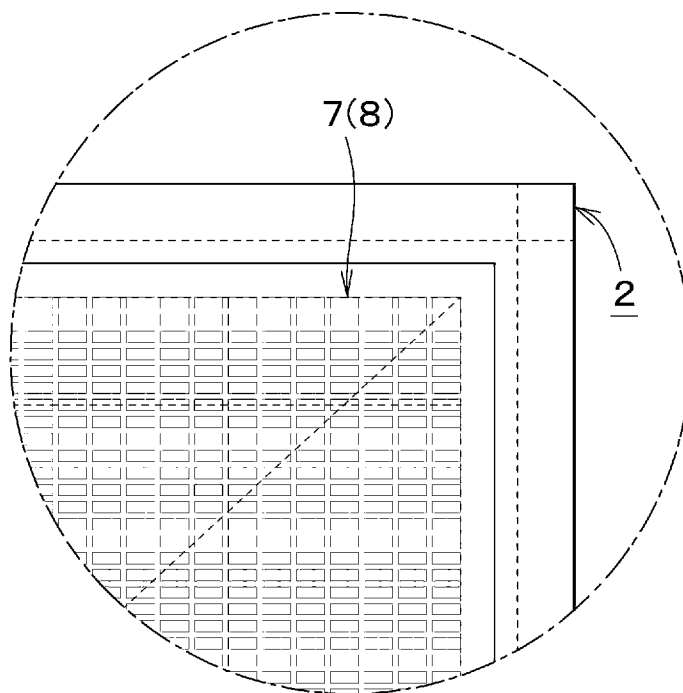


[図6]



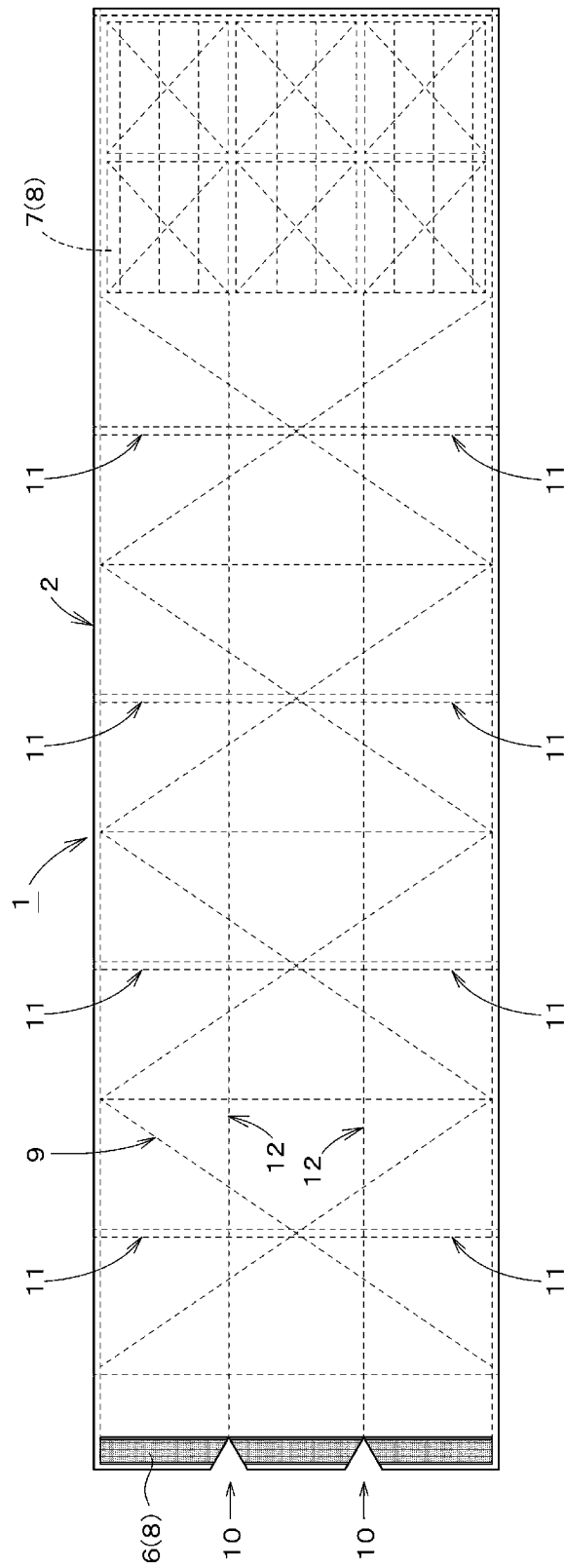
C 部拡大図

[図7]

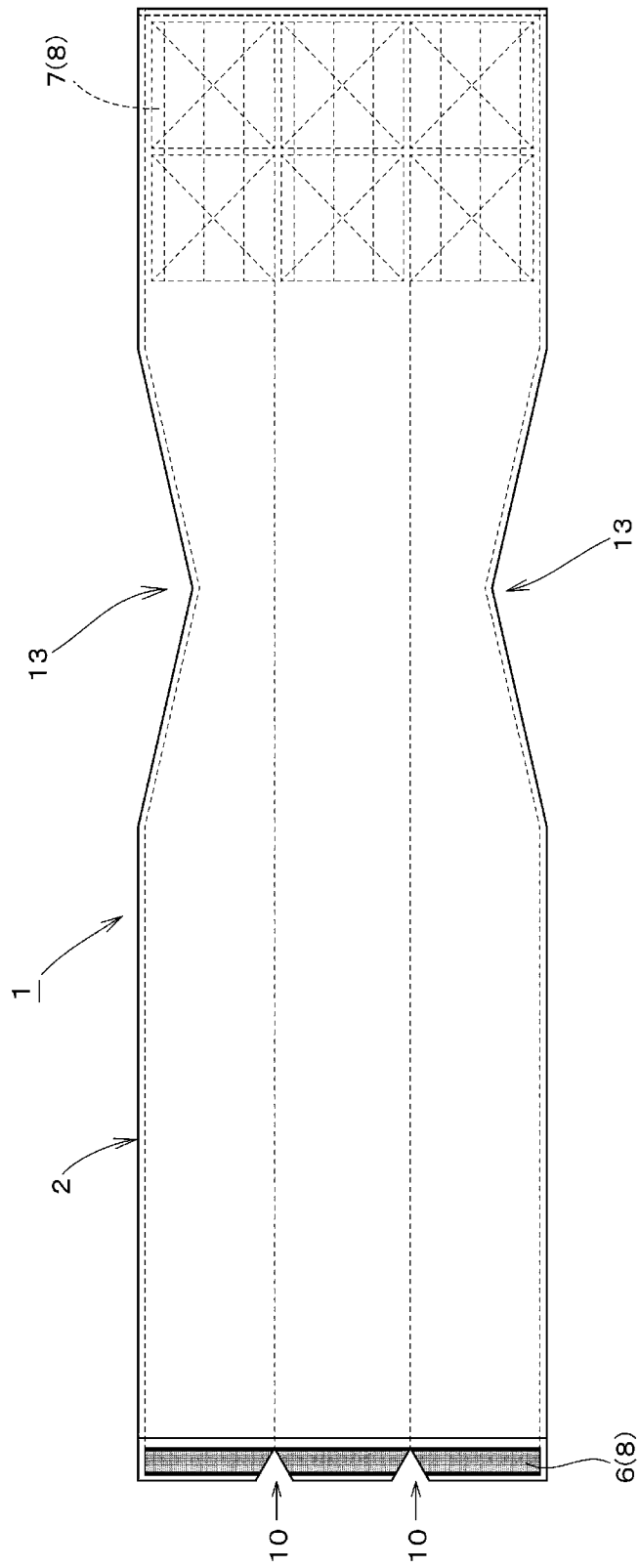


D 部拡大図

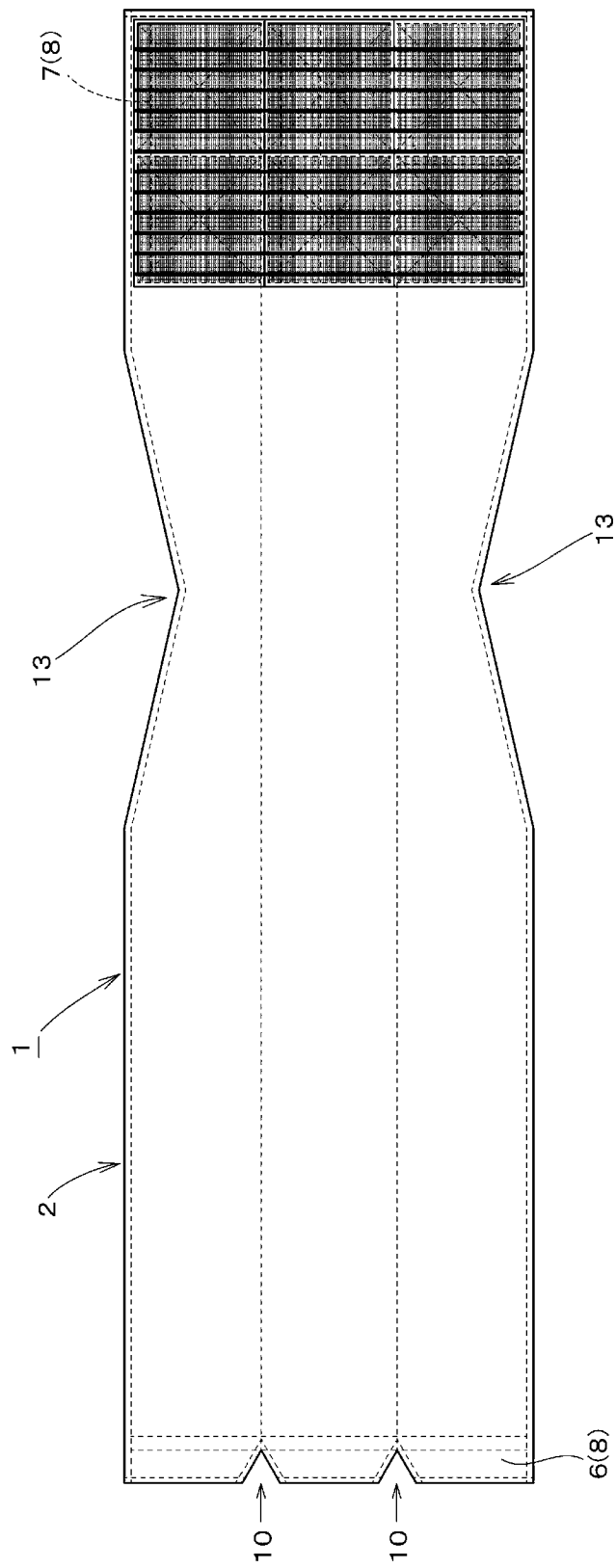
[図8]



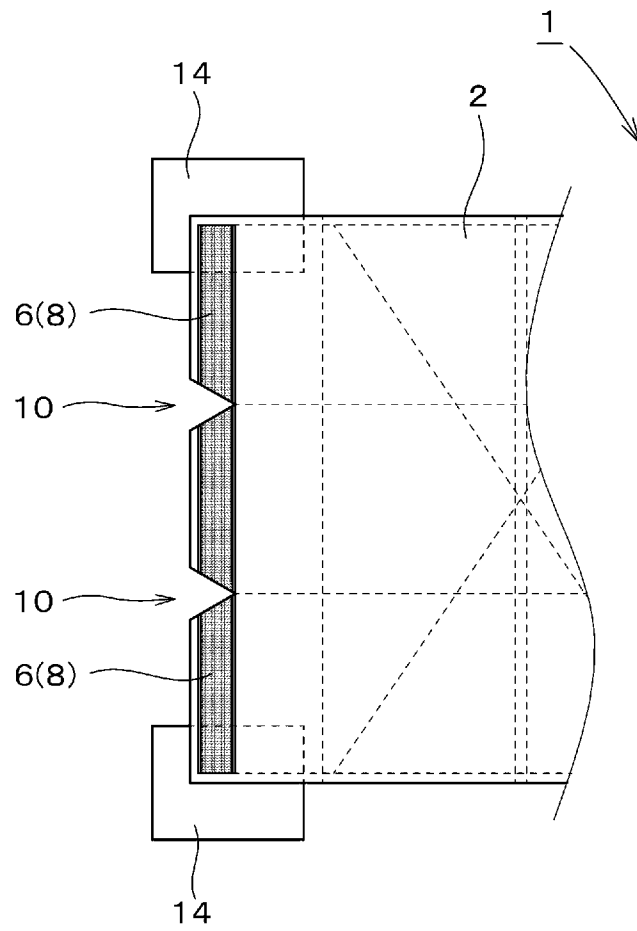
[図9]



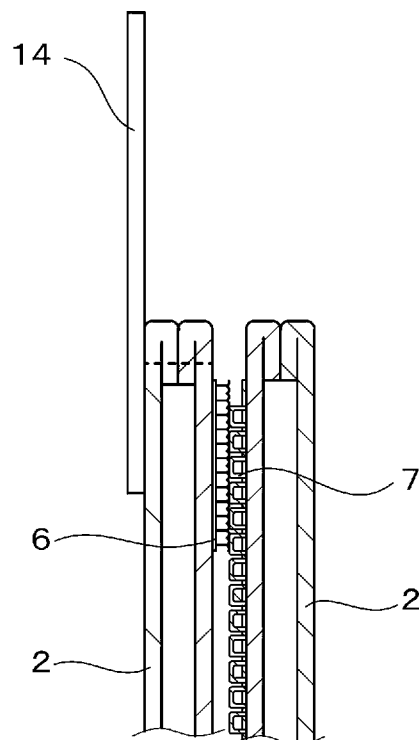
[図10]



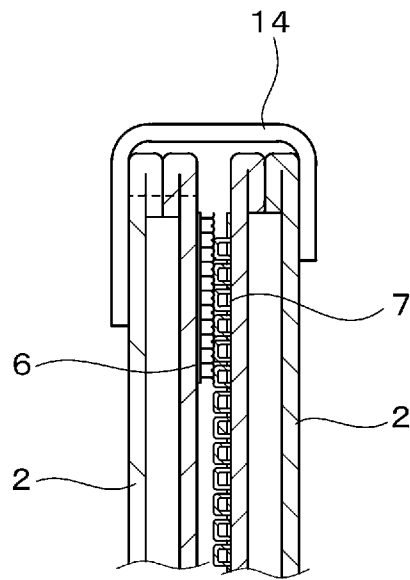
[図11]



[図12]



[図13]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2008/066730

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

A41B9/12(2006.01) i, A41C1/00(2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A41B9/12, A41C1/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2008
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2008	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2008

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 8-218204 A (Hideaki HORIMOTO), 27 August, 1996 (27.08.96), Full text; all drawings	1, 2
Y	Full text; all drawings (Family: none)	3-6
X	JP 11-229202 A (Mitsue KAIZUKA), 24 August, 1999 (24.08.99), Full text; all drawings	1, 2
Y	Full text; all drawings (Family: none)	3-6
Y	JP 3060893 U (Naritomo Shoji Kabushiki Kaisha), 07 September, 1999 (07.09.99), Full text; all drawings (Family: none)	3-6

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
14 October, 2008 (14.10.08)

Date of mailing of the international search report
21 October, 2008 (21.10.08)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2008/066730

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 3026638 U (Washi Kosan Co., Ltd.), 16 July, 1996 (16.07.96), Par. Nos. [0006], [0007] (Family: none)	3-6
Y	JP 3108045 U (Mitsuya NISHIYAMA), 07 April, 2005 (07.04.05), Par. Nos. [0007], [0013] (Family: none)	4, 6
Y	JP 7-31807 U (Nihon Kenko Zoushin Kenkyukai Corp.), 16 June, 1995 (16.06.95), Full text; all drawings (Family: none)	5, 6

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. A41B9/12(2006.01)i, A41C1/00(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. A41B9/12, A41C1/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 0 8 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 0 8 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 0 8 年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	JP 8-218204 A (堀本 秀彰) 1996.08.27, 全文, 全図	1, 2
Y	全文, 全図 (ファミリーなし)	3-6
X	JP 11-229202 A (貝塚 みつえ) 1999.08.24, 全文, 全図	1, 2
Y	全文, 全図 (ファミリーなし)	3-6

☒ C 欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

1 4 . 1 0 . 2 0 0 8

国際調査報告の発送日

2 1 . 1 0 . 2 0 0 8

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (I S A / J P)
郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

武井 健浩

3 B

3 2 2 4

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 3 2 0

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 3060893 U (成友商事株式会社) 1999. 09. 07, 全文, 全図 (ファミリーなし)	3-6
Y	JP 3026638 U (ワシ興産株式会社) 1996. 07. 16, 段落【0006】 , 【0007】 (ファミリーなし)	3-6
Y	JP 3108045 U (西山 三彌) 2005. 04. 07, 段落【0007】 , 【0013】 (ファミリーなし)	4, 6
Y	JP 7-31807 U (株式会社日本健康増進研究会) 1995. 06. 16, 全文, 全図 (ファミリーなし)	5, 6